

## 「市場」は適切に管理されなければ ならない

普段は全く見ないのですが、テレビ朝日のサンデープロジェクトが1000回記念で「日本が依って立つもの」をテーマに討論を行う、というのでビデオで録画して、早朝にざっとみてみました。出席者は西部邁(評論家)、中谷巖(三菱UFJリサーチ&コンサルティング理事長)、櫻井よしこ(ジャーナリスト)、姜尚中(東京大学大学院教授)の四氏で司会は田原総一朗。

ご覧になった方も多いかと思います。私は西部邁や姜尚中の話など今更聞くまでもないですが、櫻井よしこさんはフリップに「武士道」、中谷巖氏は「日本人の美意識」と書いて、言ってみれば日本人が大切にしてきた「日本精神」を見直すべきだと訴えていました。さすがですね。

注目していたのは、かつて「新自由主義」を進めてきた当事者である中谷巖氏が、その後考え方を改めたあたりをどう語るのかでしたが、西部邁氏が横から茶々入れたり、司会が遮ったりでまともに語れないままに終わってしまった事は残念でした。



中谷巖氏 (サンデープロジェクトの番組から撮影)

まあ、世界中の民主主義国家がこの新自由主義を取り入れて走ってきた結果が、現在の空前の金融不安・世界同時不況に見舞われているのですから、各国は当然緊急の財政出動を行う一方で、一定の規制をかけることで乗り切ろうとしている訳です。辞任した中川財務大臣は「アメリカの責任」を堂々と云っていたと思いますが、こうした声が何故広がらないのか、私には不思議でなりません。

中谷氏は自らの主張について、2月18日の産経新聞正論で述べていますのでその一部を抜粋して紹介します。(【正論】三菱UFJリサーチ&コンサルティング理事長、多摩大学教授 中谷巖、■私が「懺悔の書」を書いた理由)

### 《遅ればせの「気づき」を》

昨年末、私は『資本主義はなぜ自壊したのか』(集英社インターナショナル)という「懺悔(ざんげ)の書」を出版した。同著に対しては、多くの方々から「よく言った」という賛同と同時に、「時流におもねっている」「今さら何を」「守旧派に肩入れする裏切り者」といった多くのご批判も頂いている。

もっともな批判も多いが、誤解も少なからずある。そこで、同著執筆の意図をここでもう一度簡潔に述べさせていただきたいと思う。

同著執筆の意図は、結論的にいえば、アメリカ流の新自由主義思想に基づく改革を進めていくと、「社会」が分断され、日本という国が持っている伝統的な良さや日本産業の競争力が失われていくという点について、私の遅ればせながらの「気づき」を率直に書いてみたかったということに尽きる。

もともと、アメリカの個人主義的価値観に基づいて形成されてきた新自由主義思想を、国情の著しく異なる日本という国にそのまま当てはめるのは無理があったし、事実、その結果、日本社会のあちこちに「ほころび」が出始めている。

## 《「市場」を信用しすぎた》

筆者がかつて信じた新自由主義とは何であったか。この考え方は今でも多くの経済学者に支持されている考え方であるが、それは、資源配分は可能な限り、個人の自由意思が反映される「市場」に任せるべきであり、「国家」はできる限り市場への介入を避けるべきであるという考え方である。すなわち、個人の自由(と自己責任)を最大限尊重するために、政府は小さければ小さいほど良いとする考え方と言ってもよい。


私が懺悔しなければならないのは、「市場」を信用しすぎた点である。実際、「市場」はどの程度信用できるのであろうか。今回の金融危機が示していることは少なくとも2点ある。

1つは、経済学でいうところの「市場の効率性」は、市場参加者がすべからず完全な情報を有していることを前提にしているが、これは虚構であるという点。現実世界では情報は著しく非対称的であり、情報優位に立つ者が「強欲」に基づいて「市場」を操作する現実「市場」が効率的でないことを示している。

もう1つは、「市場」は本源的に「投機」であり、必ずバブルの生成とその崩壊を来すという点。事実、市場の歴史はバブルの歴史でもあった。グローバル資本主義が跋扈(ばっこ)した最近年だけをとってみても、1987年ブラックマンデー、90年日本のバブル崩壊、97年アジア通貨危機やロシア通貨危機、2001年のITバブル崩壊、そして今回の金融危機と続く。

むしろバブルは「常態」なのであって、決して例外的現象ではなく、従って、「市場」は適切に管理されなければならない。この点をもっと強調されてしかるべきであると思う(後略)

<http://sankei.jp.msn.com/economy/business/090218/biz0902180334003-n1.htm>

カテゴリ: 政治も    フォルダ: 指定なし      

コメント(16)

タグ: サンデープロジェクト   西部邁   中谷巖   櫻井よしこ   姜尚中

コメント(16)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by 湯煙の中一杯さん

2009/02/23 09:32

おはようございます

日経BPで中谷巖氏が「新自由主義」指向から変った経緯についてコラムを書かれています。ご存じかもしれませんが、URLを残していきます。ご参考までに。

「なぜ私は変節したか？」

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/manage/20090123/183649/?P=1>



Commented by 患者ID112904さん

2009/02/23 10:41

おはようございます。

花うさぎさん。

いつも行動伴うご意見に敬服しています。

仰るとおり昨日、桜井さんが出演と言うことで興味持ってみたいでしたが、田原の司会、西部邁氏の相も変らぬ意味不明の発言に辟易としました。

ところで、勝手では有りますが、ブログのコメントから身を引く事に致しました。決して敗走では有りません(笑)

一部ユーザーブロガーの変質とも思われるエントリー者に対する誹謗中傷、コメント投稿者に対する罵詈雑言は許す事が出来ず、だからと言って匿名相手を負かせるだけの表現力もなく、血圧が上がるばかりです。

花うさぎさんのエントリーにより多くの知識を頂きましたことに感謝し今後益々のご活躍を祈

念申しお礼の言葉とさせていただきます。有難うございました。

2009/02/23 14:32



Commented by **花うさぎ さん**

To 湯煙の中一杯さん こんにちは。

> 日経BPで中谷巖氏が「新自由主義」指向から変わった経緯についてコラムを書かれています。

情報感謝です。

よ〜と見に行ったら、二頁以降は会員でないと見られないのですね(^^;)。



Commented by **花うさぎ さん**

To くぼたさん こんにちは。

2009/02/23 14:37

> ブログのコメントから身を引く事に致しました。

あら、それは残念ですね。

> 一部ユーザーブロガーの変質とも思われるエントリー者に対する誹謗中傷、コメント投稿者に対する罵詈雑言は許す事が出来ず、

本当にどうしちゃったんですかね?。ひょっとして「正体を現した」だけかも(^^;)。

> だからと言って匿名相手を負かせるだけの表現力もなく、血圧が上がるばかりです。

お体を大事になさってくださいね。

> 有難うございました。

こちらこそありがとうございます(--)



Commented by **珈琲好き さん**

くぼたさま 横から失礼します。

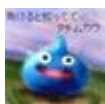
2009/02/23 15:33

> 一部ユーザーブロガーの変質とも思われるエントリー者に対する誹謗中傷、コメント投稿者に対する罵詈雑言は許す事が出来ず、だからと言って匿名相手を負かせるだけの表現力もなく、血圧が上がるばかりです。

私も同感です。罵詈雑言は幾ら正論を述べていても読む気が無くなります。荒れているコメント欄を見てると、そのブログを続けて読むのが苦痛に成りますね。私もしばらくエントリーだけ読んでコメント欄は一切参照しないようにしていました(それで最近コメントも少なくなっているのかも知れません)

花うさぎ さま

規制緩和も規制も程度次第だと思うんですよね。行き過ぎた規制は緩和されるべきだし、規制するべきものは犯罪として規定してでも規制すべきです。人間は賢くもあり、愚かでもある。その事を忘れず、「市場」を信用しすぎる事の無いように犯罪的部分は事前に適度するべきなのです。その予見が出来るかどうか問題なのだと思います。



Commented by **湯煙の中一杯 さん**

To 花うさぎさん

2009/02/23 16:09

> よ〜と見に行ったら、二頁以降は会員でないと見られないのですね(^^;)。

簡易な会員登録でご覧になれるはずですが、そういったことがお嫌いであれば、私宛までメールをお送りくだされば、当該コラムをメールに貼り付けてお送りしますよ。



Commented by **花うさぎ さん**

To 珈琲好きさん

2009/02/23 16:24

> 規制緩和も規制も程度次第だと思うんですよね。行き過ぎた規制は緩和されるべきだ

し、規制するべきものは犯罪として規定してでも規制すべきです。

2009/02/23 16:33

そうですね。良かれと思ってやってみたけど、不具合があれば修正する、それでよいと思います。

>人間は賢くもあり、愚かでもある。その事を忘れず、「市場」を信用しすぎる事の無いように犯罪的部分は事前に適度するべきなのです。その予見が出来るかどうか問題なのだと思います。

ご指摘の通りだと私も思います(^^)。



Commented by **花うさぎ さん**

To 湯煙の中の一杯さん

>簡易な会員登録でご覧になれるはずですが、そういったことがお嫌いであれば、私宛までメールをお送りくだされば、当該コラムをメールに貼り付けてお送りしますよ。

わざわざありがとうございます。会員登録してみます(^^)。



Commented by **珈琲好き さん**

湯煙の中の一杯 さん 横から失礼します。

2009/02/23 16:37

確か、あのコラムの会員登録って日経雑誌の読者IDが必要じゃなかったでしょうか。日経雑誌取ってないと読めないかもしれません。勘違いかも。^^; (ちょっと自信無し)



Commented by **花うさぎ さん**

>To 湯煙の中の一杯さん

2009/02/23 16:43

おかげさまで読めました。

>このドロドロの世界が歴史や文化であり価値観のところ。ただ、こういった分野を安易に持ち出すと、訳が分からないと言われてしまう。でも、人間の生活の半分以上は、ロジカルでは説明できない領域ですよ。人間の幸せは価値や伝統の上に成り立っているわけだから、それを全部捨てて、ロジカルな世界でものを考えても、人間は幸せにはなれないと思います。

「困ったときはお互いさま」という日本的価値観が中谷さんは理解できたようですね。ありがとうございました。



Commented by **花うさぎ さん**

To 珈琲好きさん

2009/02/23 16:46

>確か、あのコラムの会員登録って日経雑誌の読者IDが必要じゃなかったでしょうか。

私もそう思っていたのです。日経ビジネスは20年以上読んでましたが、今は止めてますので(^^;)。

たんに登録だけで読めました。



Commented by **故郷求めて さん**

失礼します。

2009/02/23 22:06

この、中谷先生の正論についてはkinnyさんが思いっきり論評しています。読んでみて下さいね。

<http://kinny.iza.ne.jp/blog/entry/921598>



Commented by **花うさぎ さん**

To 故郷求めてさん おはようございます。

2009/02/24 04:29

>中谷先生の正論についてはkinnyさんが思いっきり論評しています。読んでみて下さい

ね。

2009/03/01 12:17

ご紹介感謝です。この文は既に拝見しております。



Commented by **元気さん**

こんにちは。

遅ればせながら、失礼致します。

2009/03/01 13:04

「なぜ私は変節をしたのか」とても良いコラムだと思いました。

日経BPでは、『この国のゆくえ』として、たくさんのコラムが読めます。

「未曾有の金融危機を前に立ちつくす日本。私たちはどのような国や社会を構築すべきなのか。地方自治、農業、地域再興、政治システム、企業経営——。このコラムでは、ミクロの取材から識者のインタビューまで、あらゆる視点から日本のこれからを考えていく」とても前向きで的を射た良い記事ばかりであると思いました。

さて、氏のコラム全文を拝見しました。

「政・財・官」の癒着に象徴される悪しき日本を変革するために不可欠だった構造改革。

小泉内閣の「小さな政府」志向。

その小さな政府を目指す過程で削ぎ落としたものの重要性。

[米国](#)型資本主義や市場原理主義を信奉し、細川内閣、小渕内閣でも多大なる貢献をされた氏ゆえに、忸怩たる思いをされているようです。

ゆえに、政府の大きさを超えた「日本のかたち」を考えたいと思いました。

それは、麻生首相の「[施政方針演説](#)」でもありました。(以下引用)

私たちが自らの生き方を選び、「この国のかたち」を創ります。目指すべきは、「安心と活力ある社会」です。世界に類を見ない高齢化を社会全体で支え合う、安心できる社会。世界的な課題を創意工夫と技術で克服する、活力ある社会です。

そのために、政府は何をなさねばならないか。私たちは、この点についても既に多くのことを学んでいます。それは、「官から民へ」といったスローガンや、「大きな政府か小さな政府か」といった発想だけでは、あるべき姿は見えないということです。

政府が大きくなり過ぎると、社会に活力がなくなりました。そこで多くの先進諸国は、小さな政府を目指し、個人や企業が自由に活動することで活力を生み出しました。しかし、市場にゆだねればすべてが良くなる、というものではありません。[サブプライムローン](#)問題と世界不況が、その例です。今、政府に求められる役割の一つは、公平で透明なルールを創ること、そして経済発展を誘導することです。

(引用終わり)

つづく



Commented by **元気さん**

氏のコラムよりの抜粋。

2009/03/01 21:01

○[米国](#)や[英国](#)で作られた思想を日本に適用するメリットとデメリット。

欧米的な価値観の下に進められる改革を少し修正し、日本社会の強さを損なわないような形に変えて行くことが必要。

○日本の社会の特性は、現場の普通の人が高い意識を持って頑張ったために強くなった社会。

その歴史的な伝統を壊すことが改革であれば、その改革は修正すべき。

○新自由主義は、能力がある者はどんどん富んでいったらいいという発想。小さな政府にして所得再分配はあまりやらない。自己責任で、成果主義で、能力のある人は羽ばたけという世界。

日本にそのまま導入すると日本の強さがなくなっていく。

年収200万円以下の貧困層が増えると日本社会の強さが失われてしまう。

○「マーケット」や「自由」はパンドラの箱だから、開けたら元には戻れないが、

[米国](#)型資本主義は物の考え方だから、組織を強くするためにはどうすればいいか考えれば、元に戻せる。

○現在のグローバル化という世界経済の枠組みを戻すことはできないけれど、修正していかないと危険。